



校長室通信

「THREAD」

1日に生徒集会を開き、その中で今月17日(土)に開催する「南中文化の日」のスローガンが発表されました。そのスローガンは、「THREAD ～ 心をひとつに 光ある未来へ～」。

「THREAD」とは日本語に訳すると「糸」を意味します。昨年、新型コロナウイルスが社会の様々な状況を大きく変え、私たちの心にまで影響し、分断しつつあるとも言われています。だからこそ、みんなをつなぎ心をひとつにして、希望溢れる温かな未来を創ろうという願いを込めているとのこと。体育大会や定期テストが終わったばかりの本校ですが、現在、急ピッチで準備を進めています。今回の「南中文化の日」についても、他の行事同様に、新型コロナウイルスへの感染防止対策をいかに徹底できるかも一つの課題です。参観者を制限せざるを得ないのが申し訳ないところですし、これまで同様に日頃の健康管理が土台となります。各ご家庭のご理解ご協力をお願いいたします。



「挑む」

この度、3年生の朝日風和里さんが熊本県地区別対抗中学バレーボール大会熊本県北地区代表選手に選出されました。

選出に際しては各種大会や何度もの強化練習会、選考会に参加してのことであり、本校の学校行事との重なりもあって大変だったはずですが、今後も大会出場に向けて、県内の高校生チーム等を相手にした練習に参加していくことになります。自分をどこまで高めることができるのか、そのためにも、新しい仲間とつながる力が求められます。自分の持ち味を存分に発揮し、自分の可能性を信じて挑むのみですが、何よりもバレーボールを楽しんでください。



【いい笑顔です】



「願いを込めて」

先週の放課後、私の元教え子が本校を訪ねてくれました。その教え子の名前は北里美弥さん。隣町の小国中学校の卒業生です。北里さんは、現在、自分が思い描く将来の夢に向かっての準備中です。その一方で、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される現状から、様々な影響が私たちの生活や考え方(心)にも及びつつある状況に対して、何か出来ることはないかと考え、折り鶴にメッセージを添えて贈ることを考えたそうです。自分が暮らす小国郷を、そしてそこに暮らす人に少しでも元気になってほしいとの思いからとのこと。本校生徒と職員全員分の折り鶴を届けてくれました。自分に出来ることを発信し、行動していく。中学校の時よりも格段に成長した姿に接することができ、嬉しい再会でした。



【佐渡さんが代表しての受け取り】

